

議会だより かどがわ

NO.138

4

門川町議会広報

April.2014



じいちゃんと植樹。大きくなーれ。

平成26年度予算	2 P
委員会報告	4 P
一般質問 5人が登壇	7 P
議会報告会報告	13 P

平成26年度 予算可決

(前年度比4.1%減)
企業会計 51億4699万円
4699万円

(前年度比1.8%減)

特別会計	
国民健康保険事業	27億4540万4千円
後期高齢者医療	3億9704万1千円
介護保険事業	15億2475万3千円
簡易水道事業	1361万6千円
水道事業	4億6617万6千円

東九州高速道路開通後の魅力ある町づくり、
災害に強いまちづくりに重点

平成26年第1回定例会は3月4日から20日までの17日間の会期で開きました。諮問3件・条例改正3件・補正予算4件、26年度予算6件の合計16件を審議し、すべて原案通り可決しました。本年度の一般会計・特別会計・公営企業会計の総予算は、112億4699万円となり、昨年度当初予算総額のマイナス1.8%、2億161万6千円の減となりました。

一般質問は、5人が登壇し町政についての論戦を行いました。

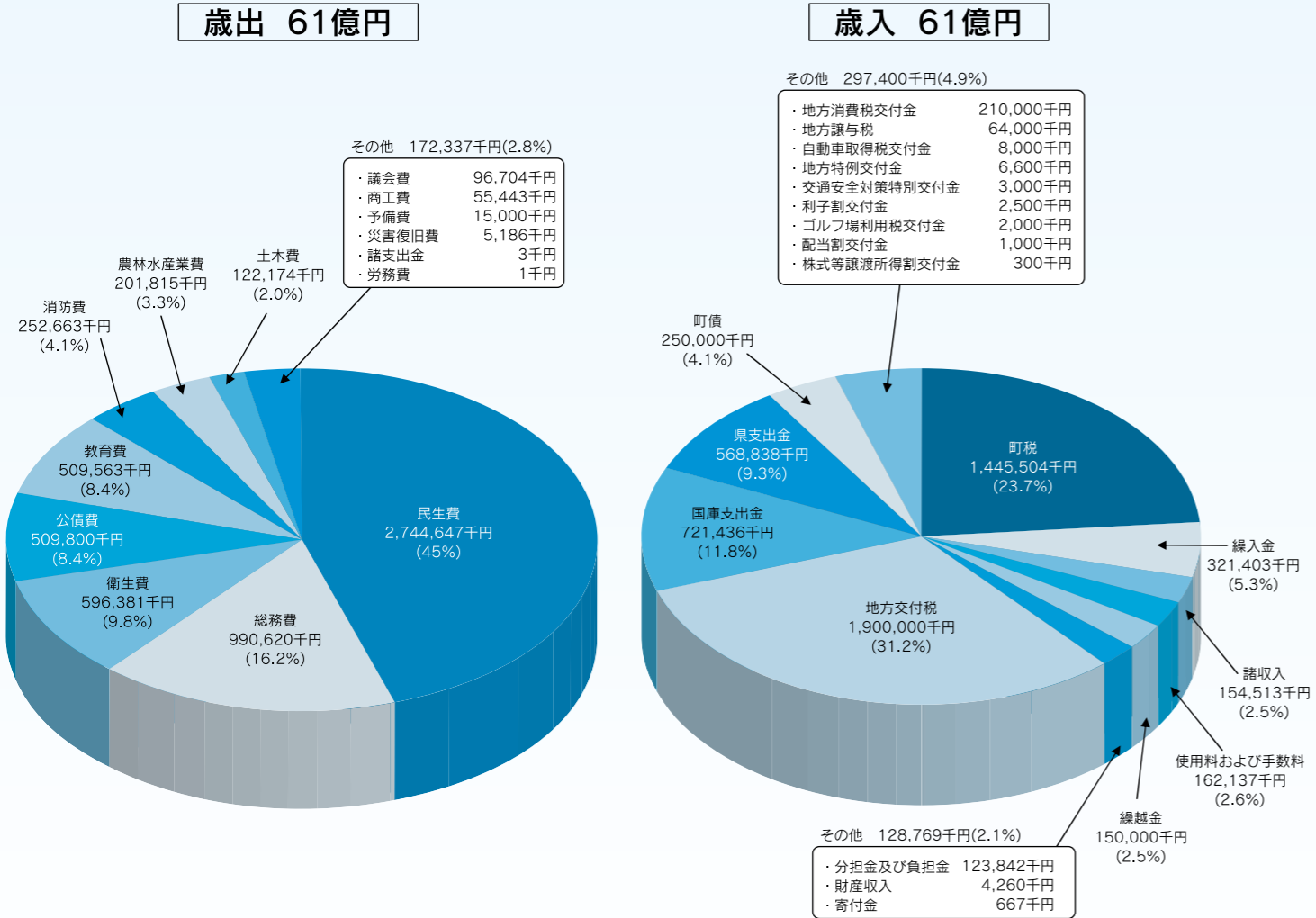


大原地区簡易水道取水ポンプ取替工事

一般会計 61億円
特別会計および公営
総額112億

自主財源38.7%
依存財源61.3%

一般会計の構成



一般会計

広域消防業務の負担金が1億8472万9千円

本委員会に付託された平成26年度一般会計予算審査は、連合審査を行い、各課担当職員より関係書類の説明をもちに慎重に審査した結果、全員賛成により原案通り可決しました。

調査内容は、生活実態の聞き取り調査、バス利用者からの意見聴取、交通事業者および目的施設への聞き取り調査などを行う。今年度の目標は、町全体の公共交通に対する計画策定を行う。

(記 森)



※広域消防業務負担金 日向消防署への負担金 ※非常備消防費 消防団員報酬、消防団訓練出動手当、消防車、ポンプ修理代、防災救急ヘリコプター協議会負担金など ※公債費 借入金返済

2672万3千円

福祉健康交流研修施設管理費

議員報酬、使用料および負担金など 9670万4千円 前年度比42万4千円減。

選挙費

県知事選挙費 950万1千円 平成27年2月20日満了 町長選挙費 704万5千円 平成26年4月21日満了 町議会議員選挙費 882万6千円 平成27年3月8日満了

消防費

※広域消防業務負担金 1億8472万9千円 ※非常備消防費 5900万9千円 ※公債費 長期債償還元金 4億3300万円 長期債償還利子、一時借入金 7680万円

マイナンバー制度の具体的な内容は、

重複数の機関に存在する個人情報をもとに一人であることの確認を行うための基盤であり、社会保障・税制度の効率化・透明性を高めるためのもの。

委員会審議および討論

議会事務局については、議会報告会の報告内容の吟味、実施時期等についての意見があった。

総務課については、データ送信などのセキュリティについて、今後更にきめ細やかな管理が信頼につながるのではないか。

企画財政課では、心の杜の施設の経年劣化による修繕費の増加が今後の課題になるのではないか。

文教厚生常任委員会

一般会計

人件費、公債費のよるな義務的経費や、施設管理費といった一般行政経費と継続経費などの骨格予算になっている。

福祉課

歳出(民生費)の主なものは、老人福祉施設入所措置費、障がい福祉サービス給付、私立保育園運営費や児童手当等の扶助費、並びに国民健康保険、介護保険及び後期高齢者医療の特別会計への繰入金である。

社会教育課

主なものは、文化・体育施設管理等の業務委託料や生涯学習、各種団体への補助金である。

また、巨石等調査委託料、海浜公園プール濾過機材入替工事費が計上されている。

図書館費では、業務等委託料が主である。

町民課

歳出(衛生費)の主なものは、健康相談・健康教室の開催や家庭訪問指導、働く世代の

特別会計

国民健康保険事業

一人あたりの医療費を自然増分、診療報酬改定分および25年度決算見込みから、5・29%増と見込み、一人あたりの保険料を3・64%引き上げる予算となっている。これには、大幅な保険料率引上げを緩和するため、基金の3千万円取り崩し、一般会計から3千万円の法定外繰入を行う措置がなされている。

主な質疑

岡虐待ネットワーク

岡高齢者虐待に迅速に対応するため、関係機関と協力して取り組んでいる。

岡石旅に係る巨石調査

岡日向市・東白杵郡の連携により石にまつわる様々な資源を調査し、石旅という観光ルートの開発。本町では、城屋敷・小園地区での石蔵などの調査を行う。

よる指導や電話連絡等で受診を呼びかけていく。

岡学力向上支援事業

岡個人差に応じたきめ細やかな学習指導を充実させる。 門中2名数学担当 門小1名算数担当

望むもので、疾病予防のため、特定健診等の受診率向上に、さらなる努力が必要である。(記 森川)

一般会計

広域消防業務の負担金が1億8472万9千円

本委員会に付託された平成26年度一般会計予算審査は、連合審査を行い、各課担当職員より関係書類の説明をもちに慎重に審査した結果、全員賛成により原案通り可決しました。

調査内容は、生活実態の聞き取り調査、バス利用者からの意見聴取、交通事業者および目的施設への聞き取り調査などを行う。今年度の目標は、町全体の公共交通に対する計画策定を行う。

(記 森)



※広域消防業務負担金 日向消防署への負担金 ※非常備消防費 消防団員報酬、消防団訓練出動手当、消防車、ポンプ修理代、防災救急ヘリコプター協議会負担金など ※公債費 借入金返済

文教厚生常任委員会

一般会計

人件費、公債費のよるな義務的経費や、施設管理費といった一般行政経費と継続経費などの骨格予算になっている。

福祉課

歳出(民生費)の主なものは、老人福祉施設入所措置費、障がい福祉サービス給付、私立保育園運営費や児童手当等の扶助費、並びに国民健康保険、介護保険及び後期高齢者医療の特別会計への繰入金である。

社会教育課

主なものは、文化・体育施設管理等の業務委託料や生涯学習、各種団体への補助金である。

また、巨石等調査委託料、海浜公園プール濾過機材入替工事費が計上されている。

図書館費では、業務等委託料が主である。

町民課

歳出(衛生費)の主なものは、健康相談・健康教室の開催や家庭訪問指導、働く世代の

特別会計

国民健康保険事業

一人あたりの医療費を自然増分、診療報酬改定分および25年度決算見込みから、5・29%増と見込み、一人あたりの保険料を3・64%引き上げる予算となっている。これには、大幅な保険料率引上げを緩和するため、基金の3千万円取り崩し、一般会計から3千万円の法定外繰入を行う措置がなされている。

主な質疑

岡虐待ネットワーク

岡高齢者虐待に迅速に対応するため、関係機関と協力して取り組んでいる。

岡石旅に係る巨石調査

岡日向市・東白杵郡の連携により石にまつわる様々な資源を調査し、石旅という観光ルートの開発。本町では、城屋敷・小園地区での石蔵などの調査を行う。

よる指導や電話連絡等で受診を呼びかけていく。

岡学力向上支援事業

岡個人差に応じたきめ細やかな学習指導を充実させる。 門中2名数学担当 門小1名算数担当

望むもので、疾病予防のため、特定健診等の受診率向上に、さらなる努力が必要である。(記 森川)

Table with 3 columns: (平成)年度, 実施人員(人), 受診率. Rows for 21, 22, 23, 24 years.

Table with 4 columns: (平成)年度, 一人あたり医療費(円), 前年度比. Rows for 21, 22, 23, 24 years.

産業建設常任委員会

産業振興課

農業、畜産業、林業、水産業の事業委託料、負担金補助金及び貸付金、各種施設の整備、保守管理等、農林水産業振興のための予算。農業委員会費は、8

農林水産業費

商工費

商工会、中小企業等への補助金、貸付金や観光事業の業務委託料、補助金負担金等、商工業振興のための予算。商工振興費は、21

35万5千円で農業委員の報酬が主、農業振興費は、1743万6千円で、主なものは、青年就農給付金1425万円となっている。農地費は、564万5千円、林業振興費は、1981万円。水産業振興費は、6549万円等となっている。

建設課
道路や橋梁の新設改良、維持管理。河川改良、公園整備及び住宅の修繕等のための予算。道路橋梁費は、4023万9千円で主なものは、工事請負費50

土木費

環境水道課
広域連合東郷霊苑負担金。塵芥処理、し尿処理における事業委託料、負担金及び合併処理浄化槽補助金等、生活環境の維持向上のための予算。

環境水道課

衛生費

環境衛生費の主なものは、東郷霊苑負担金1404万8千円、日向東白杵広域連合運営

費907万4千円。合併処理浄化槽設置補助金7277万円。塵芥処理費は、負担金として広域連合ごみ運営分6273万6千円、ごみ建設分2762万4千円、最終処分場事業709万6千円。業務委託料としては、ごみ収集運搬等4565万3千円、不燃ごみ処理2164万4千円である。

また、今年度から始まるプラスチック回収の分別収集事業監視に1230万円が計上されている。

し尿処理費の主なものは、業務委託料3355万8千円となっている。

簡易水道事業特別会計
西門川地区における簡易水道事業予算。歳入の主なものは水

道使用料553万8千円と一般会計からの繰入金707万3千円。支出内訳は、業務及び施設管理委託料378万1千円。工事請負費130万円水質検査手数料等の役務費183万6千円となっている。

水道事業会計予算
給水戸数7325戸、年間総給水量237万5千m³。収益的収入予定額は、3億3140万円で、支出の予定額は、3億640万5千円となっている。



ごみ収集車

資本的収入の予定額は、消火栓設置負担金336万3千円。資本的支出の予定額は、1億5977万1千円で、資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額1億5640万8千円は、過年度分損益勘定留保資金1億5319万9千円と当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額320万9千円で補填する。(記 菊地)

※過年分損益勘定留保資金
水道事業の減価償却費等を積み立てた資金

一般質問 5人が登場！ 町政を問う！

米良 昭平

消防団の処遇改善を

町長 必要な措置を検討



消防団は町民にとって頼りになる存在。処遇改善の検討が必要だ。門川町内のみ広域にわたる災害で、外部からの応援がすぐに望めないような広範囲の災害の場合は人手による救出が頼みになる。山間部、街中、漁村部それぞれの地域に合った装備品と、そのような場合に対応出来る団員数について検討しているのか聞きたい。

町長 資機材の充実や団員報酬の見直しなどを含め、近隣自治体の動きも考慮しながら必要な措置を検討する。



応急救護所テント

子どもが増えているという。小中学校の現状と、現場で直接子どもたちに接する先生方をどう支援しているのか。次に今後の方針は。

教育長

平成18年度から門川小学校に通級指導教室を設置し、通常の学級に在籍する発達障がいのある児童を中心に支援している。現在は町内の他の小学校からも児童を受け入れており、対象児童数は開設時の6人から14人に増え、1学級で対応できる限度ぎりぎりの状態で運営している。

また19年度から町の予算で「特別支援教育支援員」を町内小中学校に配置している。現在は6名。県立特別支援学校の専門家と、保護者との教育相談を行い、個別の指導の方針を決めたりしている。今後も児童一人一人の将来を見通した支援を継続的にできるよう、一つ一つの課題に真摯に対応していきたい。また周囲の人達へ理解を図る教育を進めたい。



国道388号線についてその後の進捗は 神崎千香子

町長 これから検討をしていきたい

町長 現在上町区間については、整備されていますが、五十鈴から小園区間については、課題がある。県は現在決定している都市計画ルートが、整備にかかる事業費や整備期間、交通安全などの観点から妥当という考えを示している。一方このルートでは、優良農地の減少や過去に発生した洪水被害の悪影響など心配の声もある。また農業用水への家庭排水の流入、幹線排水路の容量不足など地区の問題を道路事情に関連して改善できないかなどの声もある。これからこの課題について検討できる資料、例



国道388号線上町～五十鈴 城屋敷地区



国道388号線上町～五十鈴 一部整備された五十鈴地区

町長 国道388号線上町、五十鈴、城屋敷区間については、平成16年から話し合いをしていないということだったがどうなっているのか。

例えば概略の設計図などが必要ではないかと考えている。そういった具体的な検討資料もとに県と町で検討し、その上で地元への意見聴取など行っていく。

町長 この道路の改良はスマートインターから繋がる道路でもあり、生活道路でもある。県としては「われわれは、スマートインターと農道の取り付けにも3千万円出す。この都市計画道路を優先して広げたい」との意向がある。

町長 何にしてもたたき台や概略的なものがないと説明は難しい。地域住民の思いを大切にしながら路線は決定したい。



子ども課の新設は 安田 厚生

町長 現体制では困難である

町長 窓口の一本化により、家庭教育で支援ネットワークの形成などのメリットがある。一方で業務内容や人員を必要とするため、現在の体制では困難である。通常はそれぞれの部署にて固有の業務を行っているが、必要な場面では課をまたいで協力体制を持てる状況にある。現体制により、今まで以上に連携を強めて充実させて参りたい。

町長 園縦割り行政の弊害をなくし、子どもの成長を一本の線でつなぐことが大事である。子ども支援のノンス

町長 園小中学校の義務教育中心の教育総務課を廃止し、保育園、児童福祉、保健医療、教育などを含めた、0歳児から中学生までの子育て行政を一貫して扱う組織として「子ども課」を新設する考えは。

町長 一本化のメリットはあると思うが、教育委員会が大きな組織となり、今の体制では無理と考える。今後、意見等を参考にしながら検討して参りたい。

町長 園子ども行政の司令塔を明確にすることで地域子育て支援の充実が図られ、行財政改革が進められるのでは。

町長 健康マイレージを導入してはどうか。園健康増進のため特定健診の受診や、いきい

町長 トップサービスが拡充され、子育て教育の新たなサービス、子育てしやすい町づくりが図られるのでは。

町長 行政改革にあてはまるか一考するが、それぞれの課でしっかりと横の糸を結び、連携を取り合いながら業務を遂行していく。

町長 健康マイレージを導入してはどうか。園健康増進のため特定健診の受診や、いきい



広がりを見せるいきいき100歳体操

町長 健康増進促進のため、関係課が連携を図りながら、町民の方々のライフスタイル、年齢、体力に合わせた取り組みやすい活動を心がけ、同制度の導入については、導入自治体の推進体制や効果等を注視していく。

町長

町長 町内に防犯カメラを設置する考えは。園地域の防犯力向上を図るため、町内に防犯カメラを設置する考えは。また、自治会等に対し、その設置費用の一部を補助する考えは。

町長 子ども見守りネットワークや自治会における地域住民の連帯性の強化など、既存の取り組みを継続しつつ、防犯カメラの設置、自治会等への補助のあり方など、今後の研究課題とする。

町長 町内に防犯カメラを設置する考えは。園地域の防犯力向上を図るため、町内に防犯カメラを設置する考えは。また、自治会等に対し、その設置費用の一部を補助する考えは。

町長 園日向警察署の発表によると、今年度の犯罪発生状況は、市町村別犯罪率(10万人あたりの犯罪認知件数)が、ワースト1位は日向市(936件)で、門川町は6位(558件)である。犯罪率の高い状況等をどのように考えるか。

町長 発生状況は重く受け止め、子ども見守りネットワーク、青少年健全育成補導員の方々にパトロールをお願いしたい。

町長 園町内の主要道路沿線に防犯カメラを設置する考えは。

町長 商工会が8台の防犯カメラを設置している。その効果を参考に十分検討していく。



国保税が高いが、対策は

水永 正継

町長 町民の健康寿命の延伸を図っていきたい

町長 本町の国保税は、所得割、被保険者均等割、世帯別平等割から成る3方式で課税を行っている。世帯の所得及び加入者数が増えるほど

町長 町所得に対して国保税額の負担率の高い世帯は。

町長 平成25年3月末の時点で、3353世帯となっており、門川町の全世帯数の約4割である。

町長 また、将来に対してどのような見通しや対策を持っているのか。まず、国保加入の世帯数は。

町長 門川町の国民健康保険税は県内市町村の中でも高いが、その原因は何か。門川町に特徴的なことがあるのか。住民の保険税の負担軽減について、現在までにどのような対策をとってきたのか。

税額が高くなるが、賦課上限額があり、医療分が51万円、後期高齢者支援金分が14万円、介護保険分が12万円と定められているため、一定以上の所得であれば国保税額は同じになる。

町長 医療費分と後期高齢者支援金分の合計が、8万3189円。介護保険納付金分が、2万6107円。

町長

低所得世帯に対する軽減制度として、世帯の所得に応じて、7割5割、2割の軽減がされている。

減額に伴う国保税の減収分については、国県、町から保健基盤安定制度による財政支援が行われている。



町長 国保税の負担軽減の対策は、

受診率、30%

国保税の納付が困難



町長 国保税の高騰を招いている原因は、

町長 国保税の負担を軽減する財政支援は、

町長 国保税の負担軽減の対策として、40歳から74歳までの国保加入者を対象に「国保さわやか健診」を行い、生活習慣病の予防や重症化の予防を図っている。

町長 平成25年度は、「国保さわやか健診」の集団健診を町内6会場で延べ9日間実施した。個別の健診者と合わせると951名の受診者であったが、受診率は30%と低い。町民の意識付けが課題である。

副町長 国の制度の問題であり、国の補助率を上げるように地方から声を出すことである。



菊地 稔治

町長 前向きに検討していきたい

乳幼児医療費の助成の拡大を

町長 本町では、現在、小学校入学前までの乳幼児を対象とし、入院・入院外とも0歳児は自己負担なし、1歳から小学校入学前までの自己負担額は所得制限を設けず、入院・入院外とも350円で実施している。

町長 町少子化対策の一環として、次の社会を担う子ども達を安心して育てられる環境を作り、子育て家庭の一層の経済的支援を図るため、本町においても現在実施している乳幼児医療費助成の対象者を、小学校就学前の幼児から小学6年生の児童までに拡大し、門川町の新たな魅力ある事業として取り組んでほしい。

町長 消防団の支援強化に向けてどう取り組むのか。

町長 消防団の支援強化に向けて、本町は今後、消防団の支援強化に向けてどのような取り組みを行うのか。



いて、前向きに検討して参りたい。

町長 本町としては、消防団と協議しながら必要な資材確保や団員の研修参加等の支援策をこれまで同様進めていく。また、地域の防災体制の強化策については、これまでに、町内の30地区が自主防災組織を立ち上げており、地区からの要請に基づく防災座談会を12地区で開催した。

町長 消防ホース格納箱の整備はどうするのか。



町長 現在、町内各所に設置されている消防ホース格納箱に納められているホースや筒先、ハンドル等の不備が目立ってきている。これらについて計画的に整備を行っていく必要がある。

町長 ホース格納箱については、町内に約200ヶ所程度あり、メンテナンスは地元の消防団にお願いしているところである。本町としては、現在不足する資機材の数を提出させて、今年度の予算で対応している。また、一般の消防団の会議において、ホース格納箱の不良箇所調査を念に行って、年度替わりの提出書類に記載するようにしている。



第1回議会報告会を開催

去る2月23日(日)午後2時より南町クリエイティブセンター門川において開催しました。

報告会内容

- ・ 議会活性化特別委員会報告
- ・ 議会運営委員会報告
- ・ 各常任委員会報告(平成24年度決算)
- ・ 議会広報編集特別委員会報告
- ・ 質疑・意見交換

参加者

全議員(14人)・事務局(3人)・住民参加者(40人)

参加人員は、40人で、内訳は町内30人。

町外10人で、町外からの参加が多く議会活性化に対する関心が深いと感じる反面、町内の参加者がPRから考えると思ったより少なく、町政・議会の活動に関心の薄さを感じさせられる数字でした。

議会として、開催日や広報の仕方等、今後の課題だと思えます。



意見交換

- ・ こういう場を提供していただいたことを感謝します。
- ・ 議員定数削減といわれるが、今回の委員会構成・報告等をみると議員の活動も大変忙しく町民の声を町制に届ける議員の役割が果たされるか不安である。議会は町民の代表、町民のためにも報告会を継続してほしい。
- ・ 画期的なこと、新富町でもおこなっているが、町民の声を聴きながらこういう議会と町民が一体となる機会を継続してほしい。

アンケートのおもな内容

- ・ 難しい言葉の部分が伝わりにくい(30代女性)
- ・ 資料は読み上げるだけでなく重点ポイントは深く説明があるとよかった。(50代男性)
- ・ 食や減塩対策など食文化生活習慣の改善に大変勉強になりました。(70代女性)
- ・ 各常任委員会で町民との意見交換ができる場を作ってもらえると良い。(60代)
- ・ 今後更に回を重ねていけば参加者も多くなると思えます。良い企画だと思います。(50代女性)
- ・ 議会報告会の実施にこぎつけたという議会の動きを評価したいと思います。年1回とのことですが、今後回数を増やしていく方向になれば、より鮮度の高い報告ができるのではと考えます。(20代男性)
- ・ 休憩時間がほしかった。

そのほかたくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。次回の参考にしたいと思います。

人事案件

次期人権擁護委員の推薦

三人の委員が、本年6月末日で任期満了となるので、次期委員を法務大臣に推薦するもの。

次期委員に、

黒木純一郎氏(新任、上井野在住)、中城廣美氏(再任、小園在住)、姫野淑子氏(再任、西栄町在住)。

(承認)

条例の制定と一部改正

消費税率引上げに伴う公共施設利用料金等の改正等

(可決・賛成多数10…2)

内容は、本年4月1日より消費税率が、5%から8%へ引き上げられるのに伴い、町内の公共施設の体育館、会議室等使用料や水道料金等の改正を行うもの。

また、合わせて用字用語の修正、および心の杜温泉水の使用料を改正する。関係する条例数は、11。

なお、料金改正となる施設等は、次のとおり。

料金改正となる施設等

勤労者体育センター
学校体育館

武道館

中央公民館

町民会館

清掃工場

五十鈴農産加工センター

心の杜

総合福祉センター

西門川活性化センター

道路および法定外公共物

都市公園

総合文化会館

勤労者総合福祉センター

水道事業

総合福祉センター設置管理条例の一部改正

(可決・全員賛成)

デイスタービス事業実施に関するの使用料を改正するもの。

都市公園条例の一部改正

(可決・全員賛成)

設置済みの公園の名称の変更および都市公園への追加。合わせて所在地の訂正を行なうもの。

新しい名称

北宮ヶ原街区公園

心の杜近隣公園

平城近隣公園

都市公園に追加

須賀崎街区公園

城ヶ丘街区公園

第1回臨時会

去る1月31日、臨時議会が開催されました。案件は、人事1件、補正予算1件です。

人事案件

教育委員会委員の任命

委員の辞職により、後任の委員を任命するにあたって、議会の同意を求めるもの。

後任の委員に、

金丸正文氏(新任、加草在住)。

(同意・全員賛成)

補正予算

一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ1千8百万円を追加する。

中央公民館耐震改修事業に関するもので、老朽化した浄化槽や空調設備などを追加改修する。合わせて消費税増税分を追加するもの。

歳入は、緊急防災・減災事業債を充てる。

なお、本事業は年度内に完了しないので、1億3320万円を平成26年度に繰り越す。

(可決・全員賛成)

質疑

消費増税分とは。

答 本事業の完了が、本年4月1日以降となり、税率が引き上げられることに対応するため。

表彰されました



宮崎県町村議会議長会表彰
(12年以上在職者)

神崎 千香子議員

シリーズ

地域の力特集

本町ふるさと会

会長 長谷川 義明

本会は幼い頃に本町地区で遊んだ団塊の世代を中心とした集まりで平成19年7月に発足。

初会合では、「幼かった頃の思い出を語ろう」と地区内外から19人が集まった。話題は、トンボやメダカを捕まえ、フナ釣りや水鉄砲で遊んだコモダ池が放置され、昔の面影を失っている。

このことから、「コモダ池を蘇らせよう」を合言葉に定期的に整備し子供たちが自然に親しみ、自然環境の大切さや素晴らしさを身近に体験する池として、また地域住民の憩いの場になるよう、時間を共有しながら活動している。

現在会員は41人（女性12人・男性29人）で活動している。今年3月9日には、150本の苗木の植樹と餅まきを行った。

この活動には、宮崎県市町村振興協会・地域づくり団体等協働モデル事業および門川町まちづくりプレーヤー事業が活用されている。

(記 森)



本町公民館にて



池の観察を終えた子供たち



池の清掃をする会員たち

議会傍聴のご案内

次回の定例会は6月です。皆様の傍聴を心よりお待ちしております。

お問い合わせ：議会事務局
TEL 63-1140(内線271)

■ 発行者／門川町議会議長 安田茂明
■ 編集／議会広報編集特別委員会
〒889-0696
宮崎県門川町本町1丁目1番地
TEL(0982) 63-1140

印刷／安井株式会社



議会広報編集特別委員会

委員長 朝倉 利文
副委員長 森 誠一
委員 菊地 稿治
委員 森川 春夫

(記 朝倉)

編集後記

26年度の予算案が計上され、町長選が行われるため、骨格予算で25年度(前年度)当初予算と比較して4.1%減の61億円の予算で可決しました。スマートインター整備事業費2340万円等が予算化されています。新交通時代になり本町がストロー現象にならぬように議会としても執行当局に提言する時だと思えます。